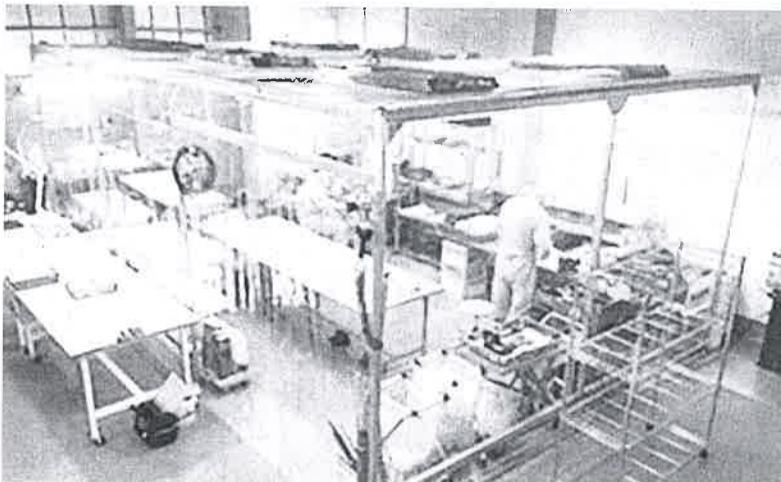


バリュートインパクト(横浜市)

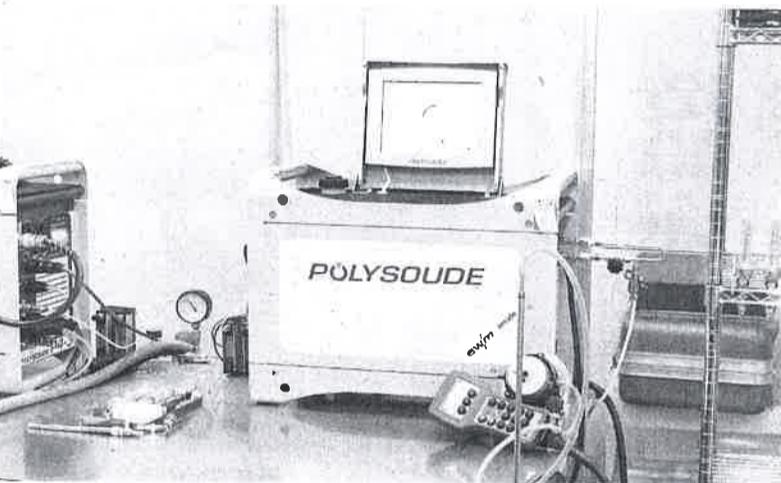
現 場 ル ポ

動溶接機をはじめとする導入していくかは重要な要素」と語るのはリューンパクト（横浜市中区）の榎本和則社長。

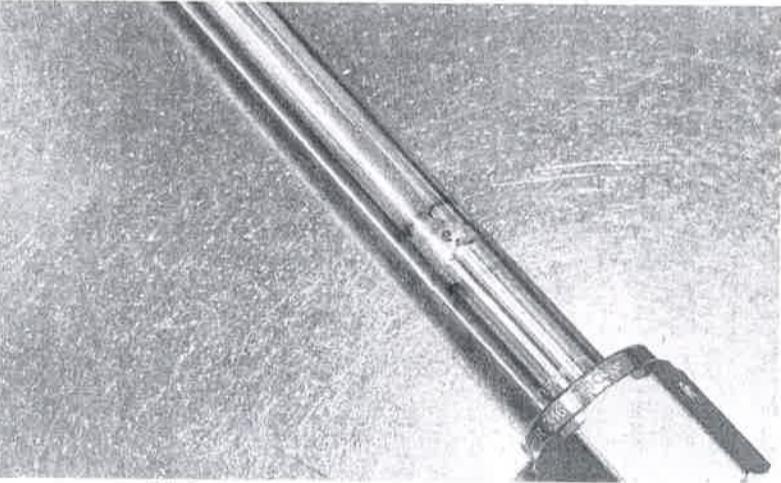
半導体向けガス供給関連機器の製造および、販売を手掛ける同社は、2017年に横浜技術センター（同市港北区）を設立し、仮社名・ポリスード社製の22



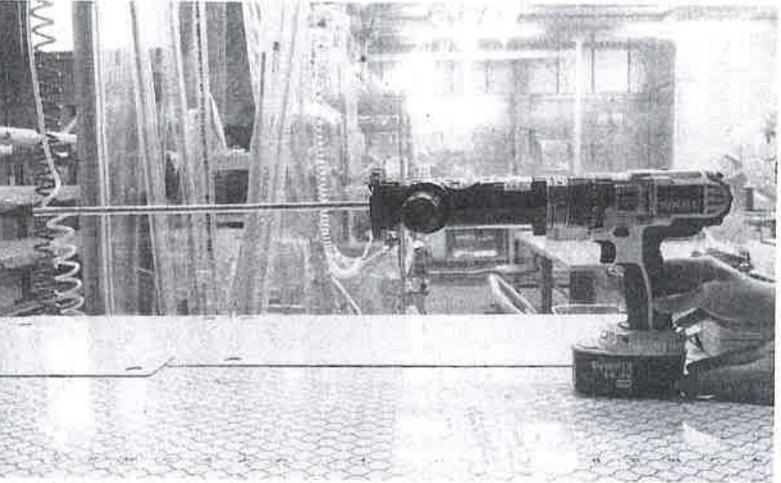
パイプ溶接を行うクリーンルーム



ポリスード社製自動パイプ溶接機などで溶接の9割を自動化



クリーンルームで溶接された小口径パイプ



高精度な端面仕上げが可能なトリツール社製「301SP」

さるなるユーザーの獲得を目指す」と述べた。そのうえで「同センターではパイプ切断機の増設や溶接後の焼け取り処理の最適化など自動化と省力化を進めている。技術者や技能者の底上げを図り、ハステロイ材の溶接、より高度な品質水準が求められるパイプ加工などをとも挑戦していくことで市場を拡大していく」と意欲をみせた。

バリューパクト（横浜）

現場ルポ

「半導体関連産業で
使用されるガス供給用
パイプには高い清浄性
に加えて、毒性や可燃
性の高い特殊ガスを使
用するため、パーティ
クルの発生や漏れを許
さない高品質な溶接が
求められる。生産性向
上や品質管理という面
において安定したパイプ
をクリーンルーム内で
おいて、品質管理という面
でクリーンルーム内で
も高い清浄性が求めら
れる。その
や米・トリツール社製
いて、クリーンルーム
内で小口径パイプの組
立・配管などの溶接か
ら検査を自社内で一貫
して可能な生産体制を
構築した。

半導体関連産業では
製造工程におけるクリ
ーン化が進み、半導体
の生産にはガスの純度
も非常に需要なファク
ターとなつておなり、使
用されるガス供給関連
台の自動パイプ溶接機
タードではクリー
トのクリート
でパイプの
組立などを
する。

六市

しておられ、ステンレス動溶接機を導入した経組立を自社で行う
製の8分の1—4分の緯について溶接機どしは当社にとって甚
3インチの小口径パイの性能に加えて、同試みであった。そ
ブ(厚さ1—1.24ミ)機を発売する独逸機械
ため同センを中心にポリスード社貿易(川崎市川崎区)
ラス100製の2台の自動パイプ溶接機により自動ティ
ンルーム内溶接機を適用し、パイグ溶接を適用し、パイ
の導入前から導入後に至るまでのサポート体制の充実を榎本社長は
溶接および強調する。
ブを溶接している。溶接電源には出力170「溶接を含めて高度
ーの溶接はアンペア自動溶接電源な品質が求められる半
がほとんど」「P-4」を使用。導体向けガス供給関連
ポリスード社製の自機器用パイプの製造・
割を自動化を行ってい
たが、パイプを溶接する技術者のニーニングを含めた
一ト体制が充実し、新規で製造事

クリーンルームでパイプ溶接 半導体向け、求められる清浄性

立ち上げる当社にとって心強かった』

同センターでは独逸機械貿易が発売するトルソール社の端面加工機「301SP」も導入。芯だし不要で高精度な直角端面仕上がりを可能な同機により溶接前工程において、同センターの省力化および生産性向上に貢献。

現在、同センターでは自動溶接機のオペレーションや品質管理を行つ20代から30代の技術・技能者が在籍し、1日あたり400本を超えるパイプの溶接が可能であるという。

【溶接経験のある技術者が立ち上げメンバー】

1にいたことに加えて、半導体向けガス供給関連機器の需要の高まりを受けて、販売についてもトレーニングまでサポートしてくださったおかげで、セントラルを稼働した直後による安定した溶接が可能となり、高品質な製品を製造することができた】

同社は2004年には自動溶接機のオペレーションや品質管理を行つ20代から30代の技術・技能者が在籍し、1日あたり400本を超えるパイプの溶接が可能であるという。

同センターは17年に半導体市場の活況化になつた」と榎本社長

て、独逸機械貿易が自動溶接機のオペレーションについてもトレーニングまでサポートし、これまでに加えて国内で販売された機器を、同センターを稼働した直後による安定した溶接ができるよう、高品質な製品を製造することができる。これが、同センターでは自動溶接機のオペレーションや品質管理を行う20代から30代の女性社員も勤務している。今後の目標について榎本社長は「今後も半導体関連市場は拡大していくとみられる。同センターでのメンテナンスや組立を含めたカスタマーサポート体制を強化する。ニーズ